

中間評価	
○ 成果と▽ 課題	● ▼ 期末への方策等
<p>○デジタルドリルやデジタルコンテンツについては、各教員がタブレット端末を活用した授業を積極的に行ったり、家庭学習でも活用を推進したりするなどして、基礎、基本の定着を図ることができた。</p> <p>▽自分の意見や考えを表現する力の向上が必要である。</p>	<p>●継続してICT機器を活用した個別最適化された学習を設定することで基礎基本の定着を図りつつ、児童一人ひとりの学習状況への理解を深め、個に対応した指導を行っていく。</p> <p>▼自分の考えを目的に応じて適切にまとめる学習を、国語科のみならず他教科の様々な学習活動で取り入れていく。</p>

期末評価	
○ 成果と▽ 課題	● ▼ 次年度への方策等
<p>○作文等の学習において、組み立てを意識して文章を書くなど、文章を作成する力が向上した。</p> <p>▽文章読解や立式する際の根拠となる説明等において、既習事項を使って応用、活用する力の向上が必要である。</p>	<p>●継続して文章の構成や段落相互の関係を捉えて書く力を伸ばし、文章を読み解く際にもその力を生かしていけるよう、日々意識させていく。</p> <p>▼既習の学習の積み重ねが、次の学習につながっていくことを学習の場面で示し、児童自身が積極的に活用することを意識できるようにしていく。解法の説明の仕方について互いに伝え合う学習をすすんで取り入れ、論理的思考力や説明をする技能を向上させていく。</p>